

## 流山市在宅医療介護連携推進事業

**令和7年度 第2回**

**流山市在宅医療介護連携推進会議**

流山市役所健康福祉部介護支援課  
令和7年7月24日（木）

# 議題 1

## 情報共有システムに関する取り組み

～さらに推進していくための令和7年度市の取り組みについて～

# 令和7年度 流山市情報共有システム（カナミック）の3つの形態

	①情報共有 (多職種連携)	②ケアプランデータ連携 (居宅会議支援事業所と 介護サービス事業所間)	③地域連携型BCP (介護事業所間連携)
運用開始	平成27年	令和7年4月	令和7年6月
内容	在宅で医療・介護サービスを利用されている市民に対し関係する専門職間のスムーズな情報連携	居宅介護支援事業所と居宅介護サービス事業所間のケアプランデータのやりとり	有事の際に市と事業所、事業所間同士の情報共有
登録者数	登録者数※ 552名 登録事業所数 130か所 連携ケース数(お部屋) 29件	登録者数 165名 登録事業所数 57か所	市内介護保険事業所数262か所 (市から事業所へID付与済み)

※流山市に登録申請のあった市外事業者も一部含む

# 流山市情報共有システム（カナミック）要件一覧

	①情報共有 (多職種連携)	②ケアプラン データ連携 <small>(居宅会議支援事業所と介護サービス事業所間のデータ共有)</small>	③地域連携型BCP (介護事業所間連携)
IDの付与	個人単位に付与	個人単位に付与	<b>事業所単位に付与</b>
電子証明書	必要	必要	<b>不要</b>
ログイン端末	電子証明書 インストール 済みの端末	電子証明書 インストール 済みの端末	<b>どの端末でも可能</b>
個人情報の使用	可能	可能	<b>不可</b>

# ①情報共有システムとは

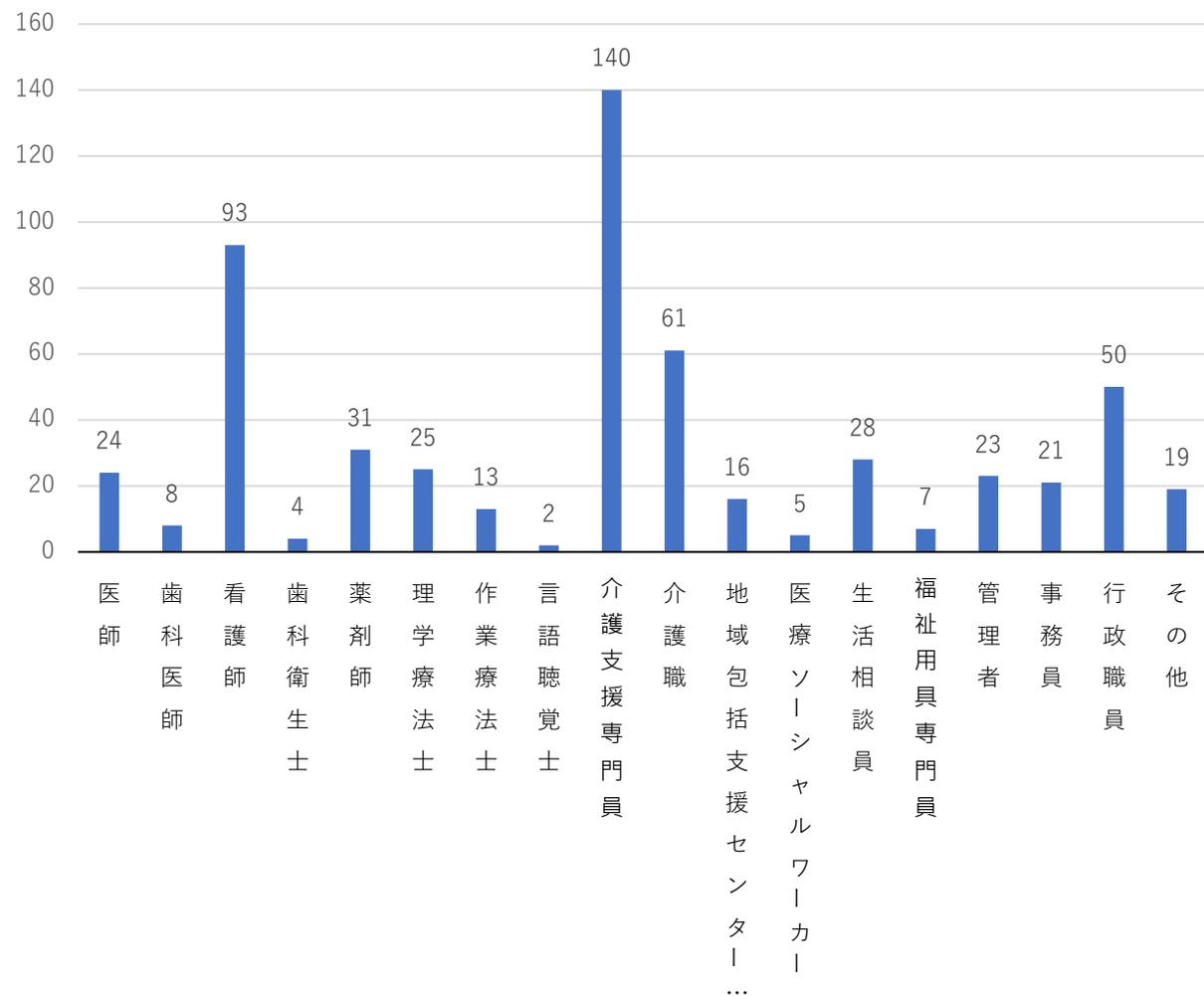
ICTを活用し、在宅医療・介護を必要とする患者・利用者個人を総合的、一体的に支援していくためには、関わる在宅医療・介護専門職間のスムーズでタイムリーな情報共有が重要になる。その有効的手段の一つとして、ICTを活用した情報共有システム(カナミック)を平成27年より取り入れ推奨している。

## **【流山市の取り組み】**

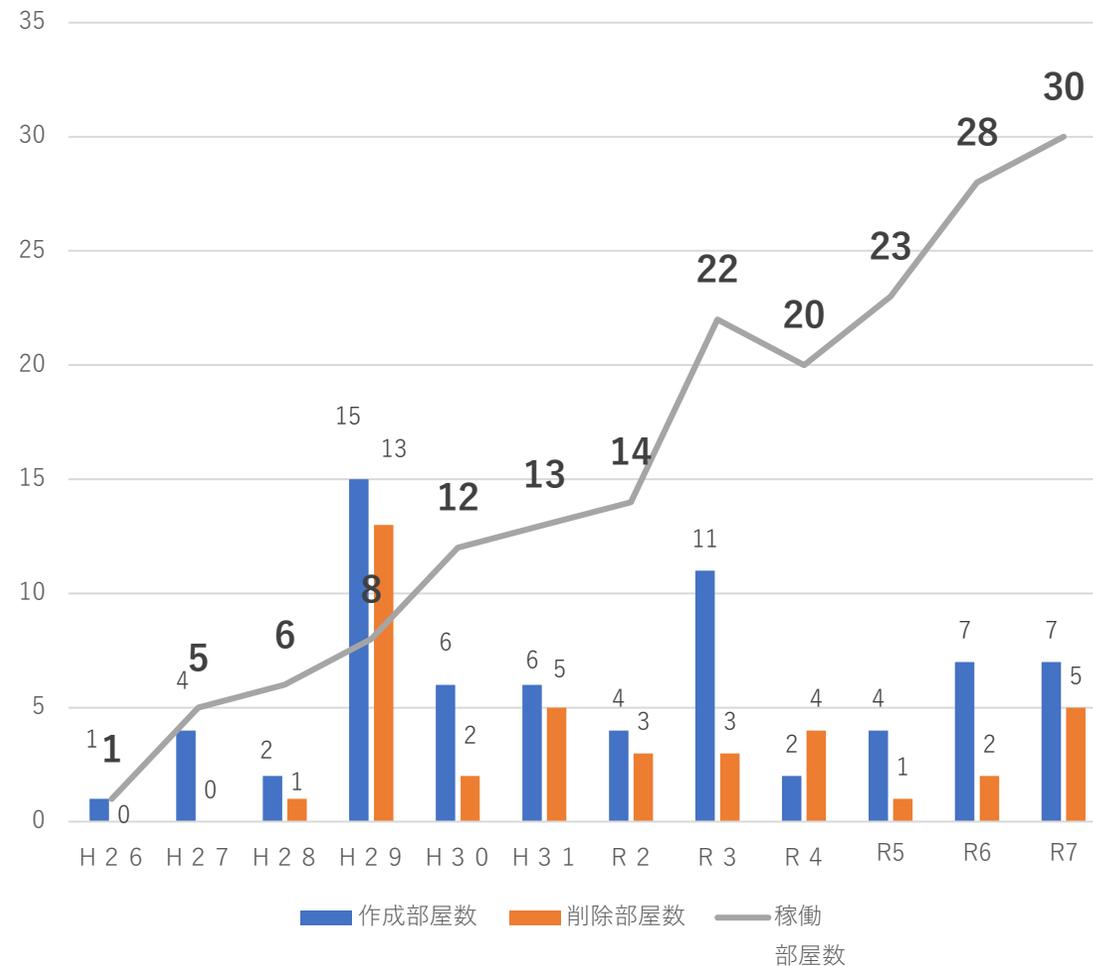
電子証明書を取り入れセキュリティを高めていることや無償でシステムを提供することで、市内の事業者の様々な負担軽減を目指している。

# 情報共有システム活用データ (R7/7/22時点)

情報共有システム登録者数 (人)



部屋稼働件数 (件)



## ②ケアプランデータ連携システムとは

居宅介護支援事業所と居宅介護サービス事業所間でおこなうケアプランの受け渡し（利用者単位で作成し毎月初・毎月末にやりとりを実施）を、オンラインで完結できる仕組み。

### **【流山市としての目的】**

居宅介護支援事業所と居宅介護サービス事業所間のケアプランデータのやり取りを、カナミッククラウドサービスを介して行うことで業務を効率化し、費用負担軽減、介護人材の確保・定着率向上など生産性の向上を図る。

# 【ケアプランデータ連携システム活用による効果】

## ■業務の効率化

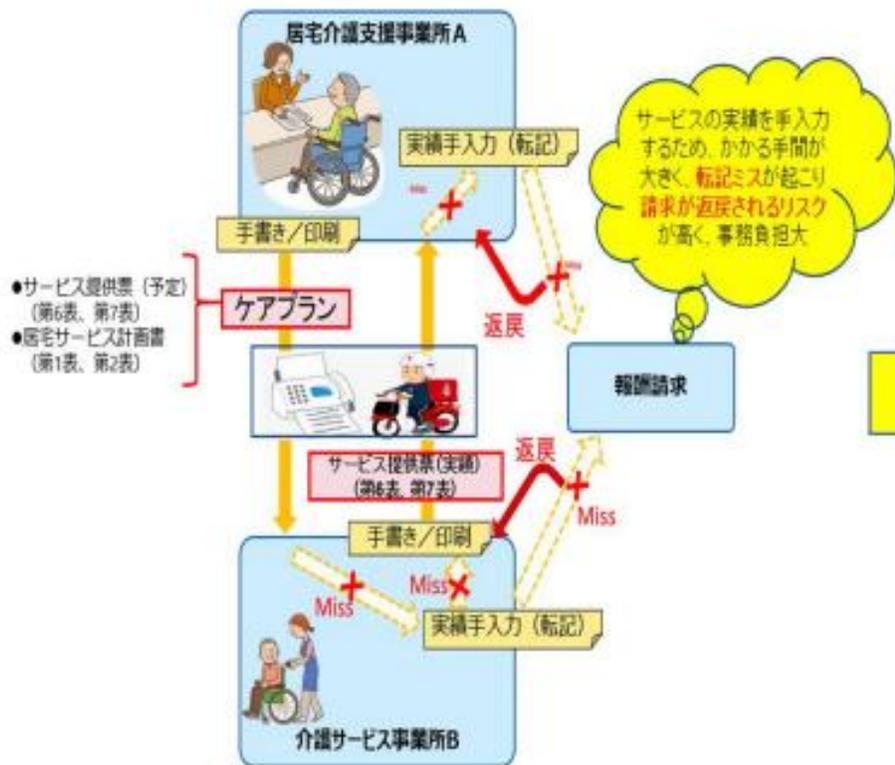
### 【期待できる削減効果例】

- ・記載時間の**削減**
- ・転記誤りの**削減**
- ・データ管理による文章量**削減**
- ・介護従業者の負担**軽減**

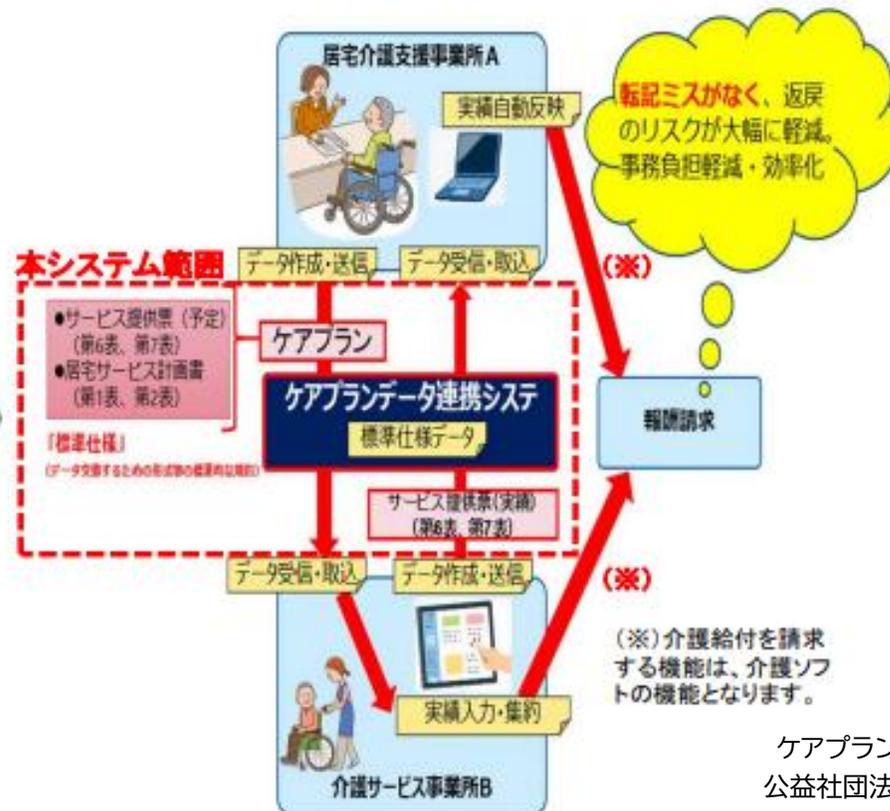
### 【効率化による相乗効果例】

- ・利用者支援にかける**時間増**
- ・ケアの質の**向上**

### 【現状】



### 【データ連携後のイメージ】



### ③地域連携型BCPとは

介護保険サービス事業所は、令和6年度より業務継続計画の策定(BCP)が義務化。各事業所にはBCP策定を推進していただき、市としては地域連携型BCPを整備し、市内事業所の相互情報共有、助け合いの仕組みを各事業所間で備えることを推進していく。

#### **【地域連携型BCPにおけるカナミックの活用】**

有事の際、市や事業所間の情報共有において、有効的手段の一つとしてカナミックを推奨。有事の際にスムーズに活用できることを目的に、日頃より市からの情報提供(研修案内、公的書類の送付時期の案内等)にカナミックを利用していく。

# 流山市情報共有システム（カナミック）の現状・取り組み予定

## 情報共有システム活用に関するアンケート結果

アンケート送付先	流山市情報共有システム 登録事業所
調査期間	令和7年4月4日（金）～ 令和7年5月9日（金）
アンケート送付数	140事業所（医療・介護） （システム登録者及び未登録者）
アンケート回収数	63事業所 （医療10 介護53）
アンケート回収率	45%

## システムの満足点

～システムを頻回に利用している登録者からのご意見より抜粋～

- ・多職種連携のツールとして使いやすいと感じています。
- ・市からの情報（過去のものも含め）が分かりやすい。
- ・他職種に読んでもらえたか確認ができ安心である。
- ・歯科だけではなく多職種の情報を得ることができる。
- ・スムーズな連携ができる。
- ・情報が共有できるので便利。

システムを使い慣れれば、「ツールとして使いやすい」「情報の共有ができる」という便利さがうかがえる

## システムの不満点から見える課題と市の取り組み

⇒令和7年度情報共有システムの更なる活用のための分析プラン参照